



表彰された喜びの皆さん

平成22年度 神奈川県溶接技術コンクール開催される

神奈川県及び一般社団法人神奈川県溶接協会共催による、平成22年度(第53回)神奈川県溶接技術コンクールは第1部・第2部それぞれ別々の日に開催されました。

第1部(被覆アーク溶接及び炭酸ガスアーク溶接)は6月11日(金)、第2部(被覆アーク溶接及び炭酸ガスアーク溶接)は6月4日(金)に(財)日本溶接技術センターに於いて開催されました。

参加者は被覆アーク溶接第1部16名・炭酸ガスアーク溶接第1部29名、被覆アーク溶接第2部8名・炭酸ガスアーク溶接第2部6名と、各社から選びぬかれた59名の代表選手は神奈川県一番と全国溶接技術競技会代表選手を目指して日頃の練習の成果を十分に発揮されました。

この後当日は外観試験判定、後日X線試験判定、曲げ試験判定を行い成績が決まりました。

表彰式は9月7日(火)(財)日本溶接技術センターに於いて開催されました。

主催者を代表して神奈川県商工労働局 村井省二産業技術課長、一般社団法人神奈川県溶接協会 村上秀夫会長初め、入賞選手・会社代表・来賓・協会役員・選手付き添い等約60名の出席を得て行われました。

第1部競技課題は、全国溶接技術競技会と同一の課題となっていますので被覆アーク溶接及び炭酸ガスアーク溶接の1位2位の選手は全国溶接技術競技会の神奈川県代表として推薦されます。

第2部競技課題はJIS溶接技能評価試験と同一の課題とし、希望者は溶接コンクールと技能評価試験を同時に受験できることになっています。

これにより第2部の参加者は全国溶接技術競技会の代表にはなれません。

尚、今年の全国溶接技術競技会は滋賀県 大津市 雇用・能力開発機構滋賀センターにて開催されます。

3ページをご覧ください。

各部の優勝者

神奈川県知事賞 (団体賞・個人賞)

被覆アーク溶接第1部 優勝 長谷川 優
団体賞 三菱重工業(株)船舶・海洋事業本部
被覆アーク溶接第2部 優勝 鈴木 智也
団体賞 日揮工事(株)

炭酸ガスアーク溶接第1部 優勝 後藤 潔
団体賞 (株)東芝京浜事業所
炭酸ガスアーク溶接第2部 優勝 佐藤 英雄
団体賞 関島工業(株)

上記の入賞者には他に一般社団法人神奈川県溶接協会会長賞(優秀賞・優良賞)、東部地区溶接技術検定委員長賞、(株)産報賞がそれぞれ贈られました。

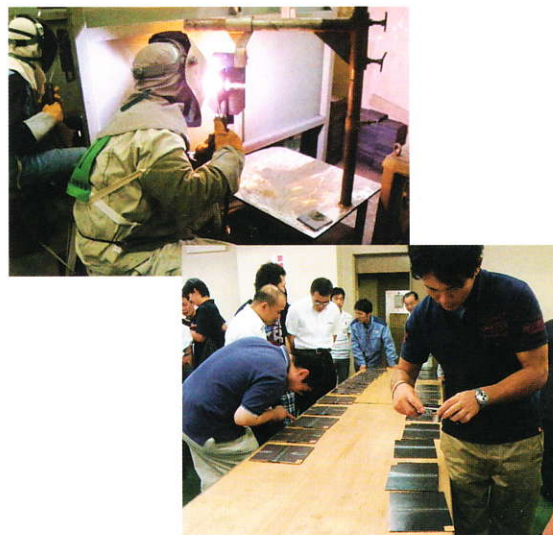
入賞者及び参加者一覧（成績順）

 入賞者

被覆アーク溶接第1部			
長谷川 優	三菱重工業(株)横浜製作所	境 高志	三菱重工業(株)横浜製作所
三島 義徳	富士電機システムズ(株)	横埜 義則	神鋼溶接サービス(株)
戸塚 孝	(株)東洋製作所大和工場	松岡 達也	富士電機システムズ(株)
荒野 康彦	(株)IHI横浜第一工場	皆川 勝己	(株)神戸製鋼所
富樫 優二	神鋼溶接サービス(株)	坪田 裕次	(株)IHI横浜第一工場
濱口 慶正	(株)品川鐵工場		
清水 茂寿	(株)東芝京浜事業所		
佐藤 慶吾	(株)東洋製作所大和工場		
竹岡 正人	JFEエンジニアリング(株)		
草薙 拓人	JFEエンジニアリング(株)		
和田 大輔	神鋼溶接サービス(株)		
被覆アーク溶接第2部			
鈴木 智也	日揮工事(株)	平林 拓也	関島工業(株)
宮田 陽史	関島工業(株)	金子 十二	関島工業(株)
高橋 心二	(有)高橋工業	塚越 正尚	(有)高橋工業
萩原 桂一	(株)岸本建設工業		
萩原 浩司	(株)岸本建設工業		
炭酸ガスアーク溶接第1部			
後藤 潔	(株)東芝京浜事業所	藤田 智大	富士電機システムズ(株)
地村健太郎	(株)神戸製鋼所	黒崎 政史	住友重機械マリンエンジニアリング(株)
畠山 友和	住友重機械マリンエンジニアリング(株)	佐々木誠二	東急車輛製造(株)
杉山 真澄	神鋼溶接サービス(株)	新関 優太	(株)東芝京浜事業所
高橋 和雄	荏原冷熱システム(株)	鈴木 智昭	菱電湘南エレクトロニクス(株)
古謝二三矢	住友重機械マリンエンジニアリング(株)	大谷 勝也	芦穂崎工業(株)
菅沼 洋紀	東急車輛製造(株)	青木 誠	原冷熱システム(株)
杉本 隆	JFEエンジニアリング(株)	石川 康郎	(株)大浜鉄工所
松川 梨沙	神鋼溶接サービス(株)	中瀬古祐太	JFEエンジニアリング(株)
石渡 博光	菱電湘南エレクトロニクス(株)	杉本 次男	東芝プラントシステム(株)
太田 勝	(株)東芝京浜事業所		
青山 正人	東急車輛製造(株)		
鈴木 康太	芦穂崎工業(株)		
加藤 浩士	(株)東芝浜川崎工場		
五十嵐 祥	神鋼溶接サービス(株)		
斉江 靖人	(株)東芝浜川崎工場		
中野 順一	日産自動車(株)		
栗原 誠	(株)三田工業所		
宮瀬 勇一	(株)岸本建設工業		
炭酸ガスアーク溶接第2部			
佐藤 英雄	関島工業(株)	竹下 寛晃	関島工業(株)
安部川 誠	(株)品川鐵工場	日夏 英二	菱電湘南エレクトロニクス(株)
牧口 和弘	菱電湘南エレクトロニクス(株)		
関 政次	(株)増山製作所		



各部で優勝された左から佐藤英雄さん、後藤潔さん、長谷川優さん、鈴木智也さん



競技と作品展示のスナップ

神奈川県溶接協会旗を作りました

神奈川県溶接協会は機関紙春号でお知らせしましたように以前から計画中の神奈川県溶接協会のシンボルマークを作りました。

それにより神奈川県溶接協会旗を写真のように作成しましたのでお知らせします。

今後この旗の下、会員各社の発展はもとより神奈川県溶接協会のますますの発展と向上を目指したいと思います。



平成22年度(第56回)全国溶接技術競技会

関西地区 滋賀大会

平成22年度(第56回)全国溶接技術競技会は(社)日本溶接協会・関西地区溶接協会連絡会・滋賀県溶接協会主催で下記日程で開催されます。

神奈川県からは今年度の神奈川県溶接技術コンクール被覆アーク溶接第1部、炭酸ガスアーク溶接第1部で各々1位2位になられた下記の4名が神奈川県代表として参加します。

開会式 平成22年10月23日(土)

大津プリンスホテル

競技会 平成22年10月24日(日)

独立行政法人

雇用・能力開発機構滋賀センター

参加選手 被覆アーク溶接 56名

炭酸ガスアーク溶接 56名

神奈川県代表選手

◎被覆アーク溶接

長谷川 優 三菱重工業(株)横浜製作所

境 高志 三菱重工業(株)横浜製作所

◎炭酸ガスアーク溶接

後藤 潔 (株)東芝京浜事業所

藤田 智大 富士電機システムズ(株)



写真は左から 藤田さん、後藤さん、長谷川さん、境さん

神奈川県清川村探訪

神奈川県溶接協会理事 堀切 幸夫

神奈川県唯一の村を紹介します。清川村は県北部の丹沢山地に位置し自然豊かな山間の村で、煤ヶ谷村と宮ヶ瀬村が合併し、(現)清川村となったのち1998年に宮ヶ瀬ダムが建設され宮ヶ瀬湖が誕生したとのことです。

そろそろ、宮ヶ瀬ダムの周辺は紅葉を迎えます。見どころは虹の大橋や湖畔外周道から丹沢山系と湖畔に映えるこの時期が素晴らしいと思います。また、12月は高さ約30メートルのクリスマスツリーと湖畔の飾られたイルミネーションが美しい。

名物(?)が分かりませんが、宮ヶ瀬“水の郷商店街”や煤ヶ谷“清流の館”で販売されている“清川恵水(めぐみ)ポーク特製味噌漬け(山口養豚)”は焼くだけで絶品。肉と味噌の合性が美味しいので食べてください。

アクセスは、車なら東名厚木インターから1時間、電車なら小田急(本厚木駅)から宮ヶ瀬行きで約1時間で行けます。



宮ヶ瀬湖畔の紅葉



清川恵水ポーク特製味噌漬け



クリスマスツリーとイルミネーション

高校生による溶接コンクールについて

◎神奈川県工業高等学校教師・生徒研修について

一般社団法人神奈川県溶接協会と(財)日本溶接技術センターは共同で平成22年度(第2回)神奈川県高校生溶接コンクール及び平成23年度(第2回)関東甲信越高校生溶接コンクールに向けて神奈川県工業高等学校教師・生徒に対し溶接技能の研修会を開催しました。

実習内容は溶接技能評価試験のA-2F(板厚9mm裏当て金あり下向き)です。

期間は平成22年8月18、19、20日(3日間)10時～16時真夏の暑い盛りでしたが先生も生徒も皆さん大変熱心に取り組んでおりました。参加者は4校から教師4名、生徒8名が参加しました。

◎平成22年度(第2回)神奈川県高校生溶接コンクール

平成22年度(第2回)神奈川県高校生溶接コンクールは下記要領により開催します。

主催:(社)神奈川県溶接協会

共催:(財)日本溶接技術センター

会場:(財)日本溶接技術センター

期日:平成22年11月13日(土)

競技課題:溶接技能評価試験のA-2F

(板厚9mm裏当て金あり下向き)

参加者:神奈川県工業高等学校7校から生徒13名が参加します。

*このコンクールで上位2名の方を平成23年度(第2回)関東甲信越高校生溶接コンクールに神奈川県代表として推薦します。

◎平成23年度(第2回)関東甲信越高校生溶接コンクール

平成23年度(第2回)関東甲信越高校生溶接コンクールを下記により開催することになりました。

期日:平成23年4月23日(土)

会場:(社)日本溶接協会 東部地区溶接技術中央検定場(川崎市)

このコンクールは東部地区溶接協会連絡会(関東甲信越地区)の11溶接協会から(各2名以内)推薦された選手が参加します。神奈川県の代表選手は11月13日に開催される神奈川県高校生溶接コンクールで上位2名の方を予定しています。



第1回関東甲信越高校生溶接コンクール参加選手



神奈川県工業高校生の練習

評 価 試 験 情 報

更新試験(再評価試験)について

- ①更新試験の受験期間が次のようになっています。
更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- ②更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- ③上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験(学科試験免除)で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- ④更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験(学科試験免除)扱いとなり左記②の扱いは受けられません。
- ⑤②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- ⑤登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。
新規受験になってしまいますのでご注意ください。
更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- ⑥試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。
16日以降の試験は翌々月末の発表です。

サーベイランス(継続試験)と更新試験(再評価試験)

溶接適格性証明書には登録年月日(発行年月日)と有効期限が記載されています。サーベイランスとは書類のみの手続きで試験はありません。有効期限の3ヶ月前から期限の日までに手続きをしてください。必ず有効期限の3ヶ月前に通知を出しています。最初(1回目)のサーベイランスをしないと2回目のサーベイランスの通知は行きません。サーベイランスは2回です。

サーベイランスを2回されると、次は更新試験(再評価試験)になります。実技試験を受け直して合格されると新しく証明書が発行されます。但し、1回目のサーベイランス又は2回目のサーベイランスをされませんと更新試験の案内も行きませんのでご注意ください。